

第1期決算公告

福岡市博多区博多駅前一丁目21番28号
株式会社 長谷工コミュニティ九州
代表取締役 西田一彦

貸借対照表(平成21年3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	139,341	流動負債	111,926
現金預金	33,137	営業未払金	38,075
営業未収入金	10,435	未払金	15,490
貯蔵品	3,543	未払費用	42,407
立替金	5,470	リース債務	405
前払費用	2,459	未払法人税等	159
未収入金	52,781	預り金	926
連結法人税未収入金	2,563	前受収益	832
未収消費税	28,953	賞与引当金	13,633
固定資産	567,523	固定負債	461,845
有形固定資産	8,624	長期借入金	461,103
建物附属設備	3,439	リース債務	742
車両運搬具	263		
工具器具備品	3,835	負債合計	573,771
リース資産	1,087	純資産の部	
無形固定資産	538,187	株主資本	133,093
のれん	538,187	資本金	100,000
投資その他の資産	20,712	資本剰余金	100,000
長期差入保証金	20,712	資本準備金	100,000
		利益剰余金	△ 66,907
		その他利益剰余金	△ 66,907
		繰越利益剰余金	△ 66,907
		(当期純損失)	(66,907)
		純資産合計	133,093
資産合計	706,864	負債及び純資産合計	706,864

【 重要な会計方針 】

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 先入先出法による原価法

2. 固定資産の減価償却方法

有形固定資産(リース資産を除く) 定率法
ただし、平成10年4月1日以降取得した建物（建物附属設備を除く）については定額法を採用しております。

無形固定資産(リース資産を除く) のれんについては社内における効果継続期間（10年）に基づく定額法によっております。

リース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の適用初年度開始前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

3. 引当金の計上基準

賞与引当金 従業員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

(1) リース取引の処理方法 リース物件の所有権が、借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(2) 消費税等の会計処理方法 消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

5. 連結納税制度を適用しております。

6. 重要な会計方針の変更

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、当期より「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））を適用し、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンスリース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

これによる営業利益、経常利益及び税引前当期純損失に与える影響は軽微でございます。